

瀬戸SOLAN小学校第1学年・学年通信



## 長年付き合う大切な相棒



前号の「鉛筆」の話でふとおもいだしました。  
元メジャーリーガーのイチロー選手の話です。  
イチロー選手は、アメリカや日本各地の学校で講演会をしています。  
スーパースターの来校に、どの子も大興奮です。

当然、子どもたちは次の質問を投げかけます。

「どうしたらイチロー選手みたいに野球がうまくなりますか？」と。  
イチロー選手は、次のように答えるといいます。

自分の持っているバットやグローブを大切に使うことだよ。

シアトルの小学校で講演会をした時も、次のように話したそうです。

みんな道具を大切にしてください。

お父さんやお母さんに買ってもらったバットやグラブを大切に扱い、手入れすることで好プレーが生まれるんです。

一見、道具を大切にすることと野球が上手くなる事は、結びついているようには思えないかもしれませんが。

ですが、その野球のトップを走り続けてきたイチロー選手は、使っている道具を大切にすることこそが一番大切だと言っています。

小さなころからイチロー選手は、野球道具を大切にしていました。

どんなに夜遅くまで練習があっても、ロッカー室に戻った後にスパイクの土を落とし、バット、グラブを一時間以上丹念に手入れしてから帰ったそうです。

イチロー選手が使っている野球道具。

みんなが学校で使っている勉強道具。

どちらも同じ、道具です。

勉強や運動でぐんぐんと成長していくために、努力することや練習することはもちろん大切です。

ですが、それ以上に大切なのは、まず自分の使っている勉強道具を大切に感謝して使うことだと思っています。

その第一歩は、例えば「持ち物全てに記名すること」です。

他にも、「すべての鉛筆が削られているか」ということも大切です。

毎日使っている勉強道具の代表選手でもある鉛筆。

みんなにとっていえば、勉強の「相棒」ともいえるような道具です。

イチロー選手のように一時間もかけて手入れはしなくてもよいけれど、せめて数分、今日一日使わせてもらった鉛筆を削る時間をとろう。

そしてできればそれを習慣化（ルーティン化）しよう。

毎日道具を大切に感謝して使う癖がつけば、きっとそれは自分自身の宝物になるよ。と、そんな話を伝えることにしています。

もちろん、鉛筆以外にも勉強道具はたくさんあります。

習い事やクラブやほかにも使っている道具だって山とあるでしょう。  
が、まずは鉛筆をスタートラインとして、一つひとつ物を大切に使える練習をしていきたいなと思っています。

お家でそんな風に道具を手入れしたり、大切に扱う姿を見かけたら、ぜひ一声褒めていただければ幸いです。

(文責：渡辺道治)

[1 学年通信「コスモスハーモニー」読者ページ \(google.com\)](#)